



# 2015年3月期 第3四半期決算説明資料



# ONOKEN

## 小野建株式会社



## CONTENTS

1. 2015年3月期3Q 決算の総括、セグメント別業績推移
2. 品種別販売状況
3. 品種別販売・在庫推移、販売金額・販売数量・利益率推移
4. 建機商品・工事販売金額の推移
5. 連結子会社概要、連結損益計算書、連結貸借対照表
6. 設備投資について、2015年3月期の動向

### 将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

# 2015年3月期3Q総括 前期および計画との差異

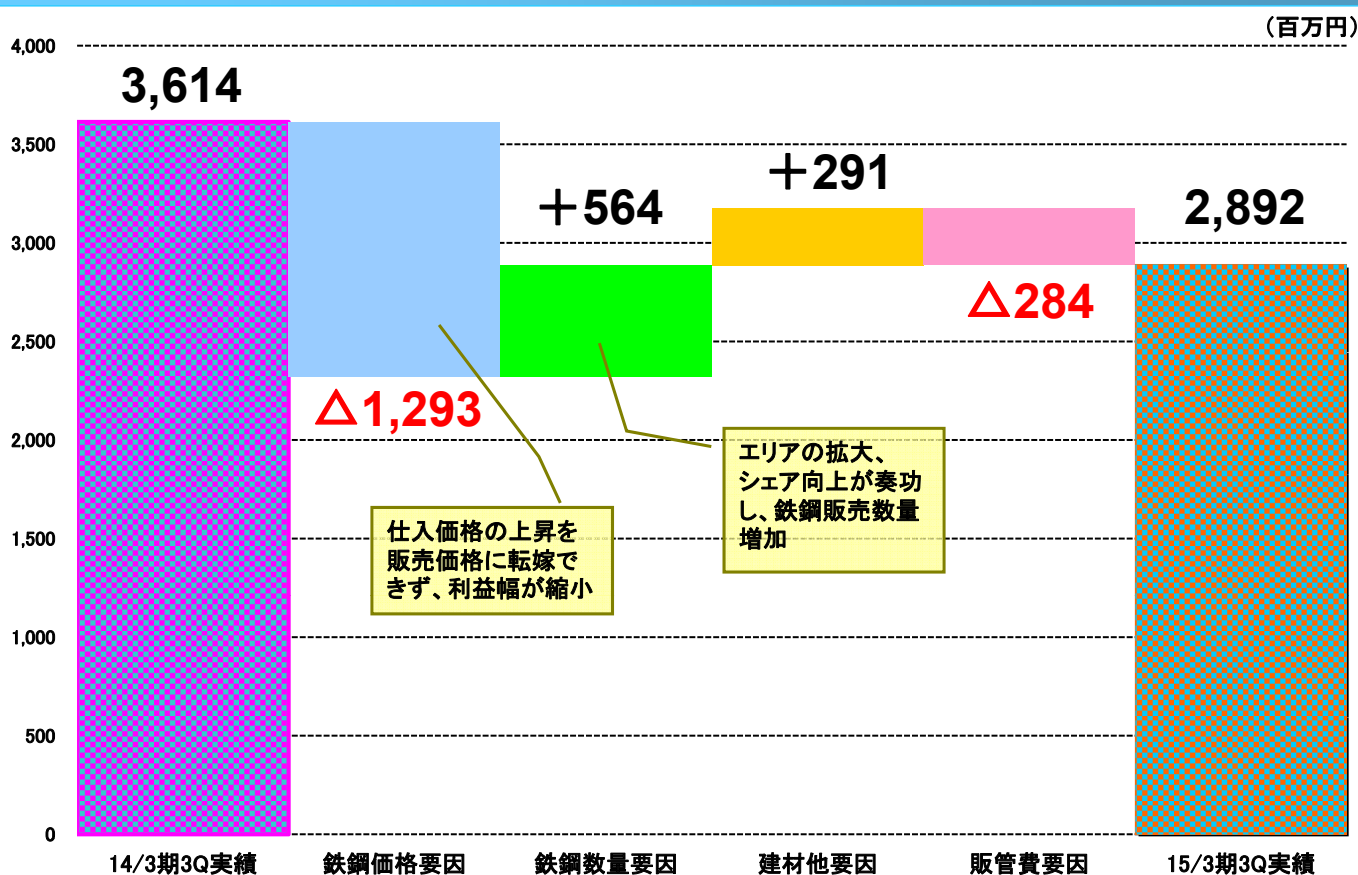
				計画比		前年比	
	14/3期 3Q実績	15/3期 3Q計画	15/3期 3Q実績	増減	増減率	増減	増減率
	(百万円・%)						
売上高	123,481	137,440	139,665	+ 2,225	+ 1.6%	+ 16,184	+ 13.1%
売上総利益	10,142	9,486	9,704	+ 218	+ 2.3%	△ 438	△ 4.3%
営業利益	3,614	2,609	2,892	+ 283	+ 10.8%	△ 722	△ 20.0%
経常利益	3,744	2,707	3,007	+ 300	+ 11.1%	△ 737	△ 19.7%
当期純利益	3,022	1,787	1,950	+ 163	+ 9.1%	△ 1,072	△ 35.5%

前期純利益は繰越欠損金が発生した為、純利益が増加

計画は11/7業績修正時のもの



## 2015年3月期3Q総括 営業利益/前年同期比変化要因



## 連結販売管理費

(百万円)

	14/3 3Q実績	15/3 3Q実績	14/3 通期実績	15/3 通期計画
販売費及び一般管理費	6,527	6,812	9,307	9,413
運賃	2,381	2,634	3,249	3,475
貸倒引当金繰入額	36	△ 74	83	48
給与等	1,395	1,456	1,860	1,950
旅費交通費	120	141	162	180
租税公課	194	227	297	366
賃借料	182	200	238	340
減価償却費	424	398	563	594
のれん償却額	28	14	37	24
その他	1,767	1,816	2,818	2,436

計画は11/7業績修正時のもの

## セグメント別業績推移

(百万円)

		13/3期 3Q実績	14/3期 3Q実績	15/3期 3Q実績	前年比 増減率
九州・中国エリア	売上	57,002	66,536	71,793	+ 7.9%
	利益	1,260	2,017	2,030	+ 0.6%
関西・中京エリア	売上	28,299	29,540	36,889	+ 24.9%
	利益	346	692	405	△ 41.5%
関東・東北エリア	売上	22,128	27,405	30,982	+ 13.1%
	利益	405	953	463	△ 51.4%

## 品種別販売状況(小野建単体)

							(百万円・千トン・%)	
		14/3 3Q実績	15/3 3Q計画	15/3 3Q実績	前年比	計画比	14/3 通期実績	15/3 通期計画
鉄鋼商品販売事業	鋼板類	30,913	38,226	40,425	+ 30.8%	+ 5.8%	45,095	50,877
	(販売数量)	441	516	547	+ 24.0%	+ 6.0%	634	688
	売上総利益	2,419	2,554	2,648	+ 9.5%	+ 3.7%	3,459	3,399
	利益率	7.8	6.7	6.6	△ 1.2P	△ 0.1P	7.7	6.7
	条鋼類	41,180	44,774	44,899	+ 9.0%	+ 0.2%	56,899	60,613
	(販売数量)	473	474	472	△ 0.2%	△ 0.4%	641	644
	売上総利益	4,173	3,493	3,506	△ 16.0%	+ 0.4%	5,660	4,735
	利益率	10.1	7.8	7.8	△ 2.3P	±0P	9.9	7.8
	丸鋼類	18,456	19,516	18,903	+ 2.4%	△ 3.1%	24,809	26,784
	(販売数量)	288	279	266	△ 7.6%	△ 4.7%	379	387
	売上総利益	921	811	765	△ 16.9%	△ 5.7%	1,194	1,129
	利益率	5.0	4.2	4.0	△ 1.0P	△ 0.2P	4.8	4.2
小計	売上高	90,549	102,516	104,227	+ 15.1%	+ 1.7%	126,803	138,274
	(販売数量)	1,202	1,269	1,285	+ 6.9%	+ 1.3%	1,654	1,719
	売上総利益	7,513	6,858	6,919	△ 7.9%	+ 0.9%	10,313	9,263
	利益率	8.3	6.7	6.6	△ 1.7P	△ 0.1P	8.1	6.7

通期計画は11/7業績修正時のもの  
6



## 品種別販売状況(小野建単体)

							(百万円・千トン・%)	
		14/3 3Q実績	15/3 3Q計画	15/3 3Q実績	前年比	計画比	14/3 通期実績	15/3 通期計画
建材商品販売事業	建設機材商品	10,914	10,460	9,788	△ 10.3%	△ 6.4%	16,510	14,734
	売上総利益	478	521	500	+ 4.6%	△ 4.0%	761	743
	利益率	4.4	5.0	5.1	+ 0.7P	+ 0.1P	4.6	5.0
工事請負事業	建設機材工事	12,750	16,630	16,946	+ 32.9%	+ 1.9%	23,540	23,965
	売上総利益	807	933	1,041	+ 29.0%	+ 11.6%	1,269	1,303
	利益率	6.3	5.6	6.1	△ 0.2P	+ 0.5P	5.4	5.4
賃貸等事業 不動産	その他事業収入	541	524	542	+ 0.2%	+ 3.4%	710	715
	売上総利益	217	252	272	+ 25.3%	+ 7.9%	296	350
合計	売上高	114,754	130,130	131,503	+ 14.6%	+ 1.1%	167,563	177,688
	売上総利益	9,015	8,564	8,732	△ 3.1%	+ 2.0%	12,639	11,659

通期計画は11/7業績修正時のもの



# 連結損益計算書

(百万円)

	14/3 3Q実績	15/3 3Q計画	15/3 3Q実績	前年比増減率	15/3 通期計画	対前期増減率
売上高	123,481	137,440	139,665	+ 13.1%	188,282	+ 5.4%
売上原価	113,339	127,954	129,961	+ 14.7%	175,387	+ 6.6%
売上総利益	10,142	9,486	9,704	△ 4.3%	12,895	△ 8.5%
販売費及び一般管理費	6,527	6,877	6,812	+ 4.4%	9,413	+ 1.1%
営業利益	3,614	2,609	2,892	△ 20.0%	3,482	△ 27.1%
営業外収益	187	183	206	+ 10.2%	233	△ 21.8%
営業外費用	57	85	91	+ 59.6%	113	+ 20.2%
経常利益	3,744	2,707	3,007	△ 19.7%	3,602	△ 27.7%
特別利益	522	171	176	△ 66.3%	171	△ 67.2%
特別損失	18	68	85	+ 372.2%	81	+ 189.3%
税引前当期純利益	4,248	2,810	3,098	△ 27.1%	3,692	△ 32.6%
法人税・住民税及び事業税	1,217	1,023	1,138	△ 6.5%	1,343	△ 23.4%
当期純利益	3,022	1,787	1,950	△ 35.5%	2,349	△ 37.5%

通期計画は11/7業績修正時のもの

8



# 連結貸借対照表

(百万円)

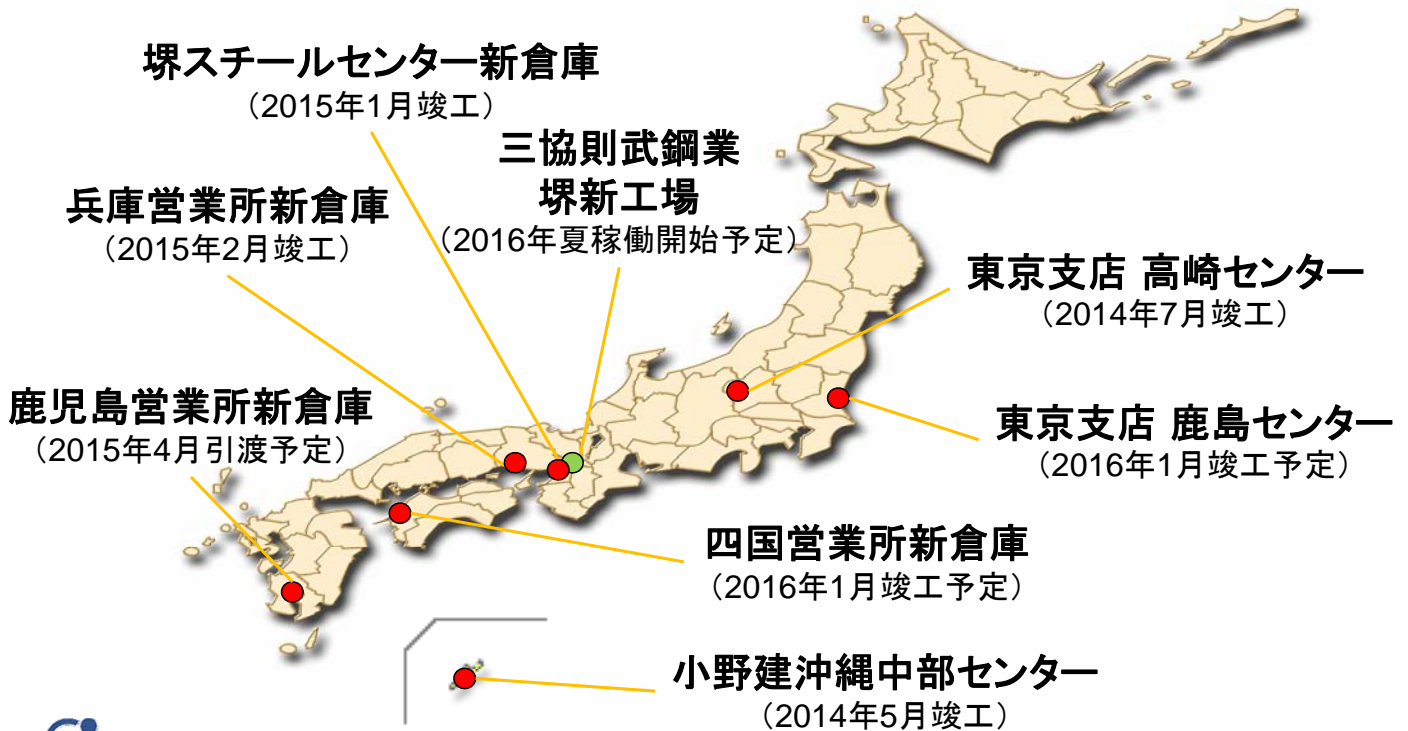
※主要項目のみを記載しております

	14/6 実績	14/9 実績	14/12 実績
流動資産	85,112	85,745	93,388
現金及び預金	4,031	2,911	3,532
受取手形及び売掛金	55,923	54,993	62,980
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	19,418	21,010	19,468
固定資産	38,410	40,434	41,326
有形固定資産	36,732	38,583	39,376
投資その他の資産	1,622	1,718	1,808
資産合計	123,522	126,179	134,715
流動負債	64,588	66,618	74,709
支払手形及び買掛金	31,961	31,208	38,725
短期借入金	27,773	30,223	30,703
一年以内返済予定長期借入	10	4	—
固定負債	6,524	6,542	6,541
社債	5,022	5,021	5,020
長期借入金	—	—	—
負債合計	71,113	73,161	81,251
株主資本	52,028	52,545	52,998
資本金	3,780	3,780	3,780
純資産合計	52,409	53,018	53,464
負債・純資産合計	123,522	126,179	134,715

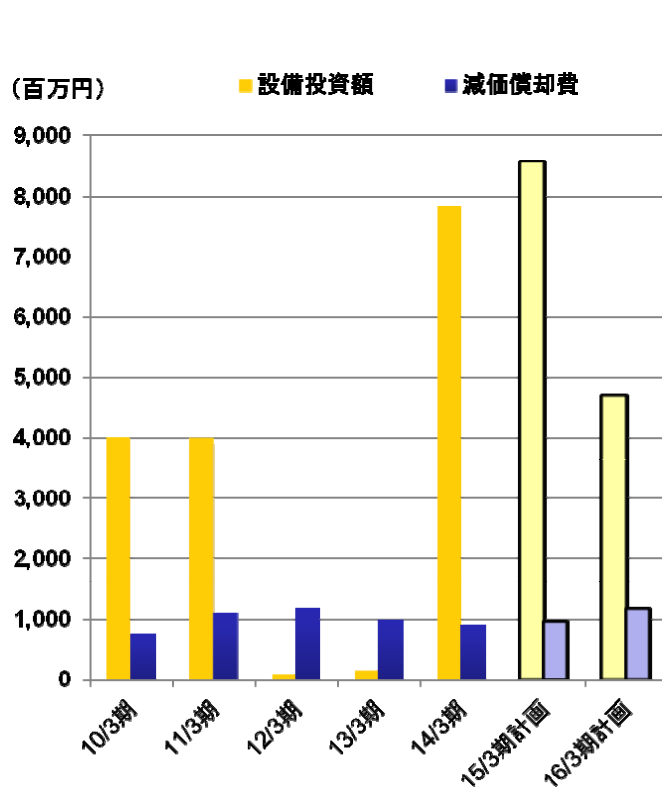


9

## 基本戦略：販売エリアの拡大とシェア向上



## 通期設備投資計画



### 14/3期

- 東京支店高崎センターの土地代並びに建設費の一部
- 堺スチールセンターの土地代
- 小野建沖縄中部センターの土地代並びに建設費の一部
- 兵庫営業所新倉庫の土地代

### 15/3期計画

- 高崎センター建設費の一部
- 堺スチールセンターの建設費
- 小野建沖縄中部センターの建設費の一部
- 兵庫営業所新倉庫の建設費
- 四国営業所新倉庫の土地代並びに建設費の一部
- 鹿児島営業所新倉庫の取得費
- 鹿島センターの土地代並びに建設費の一部
- 三協則武鋼業の土地代並びに建設費の一部

## 設備投資について(今期竣工済み)

- **沖縄中部センター新設(2014年5月竣工)**
  - － 設備投資額 約7億円
  - － 土地面積 6,915 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 4,030 m<sup>2</sup>
  - － 南部地区の既存ヤードと連携し、中・北部地区の取引先へのサービス向上  
商品種の拡大により取引先のニーズに細かく応え、短納期を実現
- **東京支店高崎センター新設(2014年7月竣工)**
  - － 設備投資額 約13億円
  - － 土地面積 9,337 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 6,580 m<sup>2</sup>
  - － 既存顧客へのデリバリーの迅速化を図り、利便性を向上させる  
浦安センター、川崎センターと合わせて  
東日本エリアの物流基地としての役割を強化

## 設備投資について(今期竣工済み)

- **堺スチールセンター増設(2015年1月竣工)**
  - － 設備投資額 約100億円
  - － 土地面積 42,800 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 27,713 m<sup>2</sup>
  - － 中国、四国、近畿、東海、北陸など関西圏一円に商品を供給する中核拠点  
堺スチールセンターの拡大(建屋面積 14,193.10 m<sup>2</sup>⇒ 41,906.10 m<sup>2</sup>)により  
西日本最大の物流拠点へ
- **兵庫営業所倉庫新設(2015年2月竣工)**
  - － 設備投資額 21億円
  - － 土地面積 21,598 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 12,798 m<sup>2</sup>
  - － 中国エリアの取引先へのサービス向上  
福山営業所とのシナジー効果を発揮

## 設備投資について(来期以降の予定)

- 鹿児島営業所倉庫取得(2015年4月引渡予定)
  - － 設備投資額 約11億円
  - － 土地面積 19,437 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 8,037 m<sup>2</sup>
  - － 岸壁付きの倉庫を取得することにより仕入れコストの低減を図る  
熊本支店、福岡支店と連携して九州南部のさらなるサービス向上を目指す
- 四国営業所倉庫新設(2016年1月竣工予定)
  - － 設備投資額 約15億円
  - － 土地面積 19,234 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 約10,000 m<sup>2</sup>
  - － 大阪支店と連携して、四国エリア全体のサービス向上を図る

## 設備投資について(来期以降の予定)

- 東京支店鹿島センター新設(2016年1月竣工予定)
  - － 設備投資額 約16億円
  - － 土地面積 20,000 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 12,000 m<sup>2</sup>
  - － 北関東一帯のユーザーを既存の高崎センター、浦安センターと連携してさらなるサービス向上を図る
- 三協則武鋼業堺新工場(2016年夏稼働開始予定)
  - － 設備投資額 約45億円
  - － 土地面積 26,529 m<sup>2</sup>
  - － 建屋面積 13,872 m<sup>2</sup>
  - － 従来の加工能力(数量・サイズ共)が大幅に向上することから、既存顧客以外へも幅広い対応が可能となり、業績の倍増を目指す。  
(従来はレベラー1機で月間約8,000t ⇒ 2機で月間約15,000tの能力となる)  
堺スチールセンターに併設することにより、自社岸壁を利用した仕入れコストの低減と小野建との連携による販売強化を図る



- **鉄鋼市況の動向**

- 足元の市況は、新規引き合いの低迷による膠着状況並びに、スクラップおよび輸入鋼材の価格の下落からやや弱含みで推移。
- 中国・韓国の国内動向並びに為替相場を注視

- **需要の動向**

- 人手不足から人件費が上昇し、工事費が高騰したことから公共工事の発注遅れ並びに工事の遅延があり見込みほどには増加せず。ただし、計画案件は多く、今後も期待。